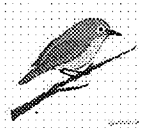
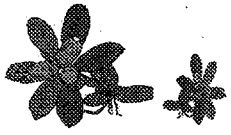
室戸市教育委員会

令和３年度　自己点検・評価報告書

～ふるさとを愛し、心豊かでたくましく 生きる力を育む教育～







令和４年８月

１．自己点検・評価

評価ランク　Ａ：優れた取り組みがなされており、成果が十分上がっている
Ｂ：問題なく取り組んでおり、一定の成果が上がっている
Ｃ：取り組んでいるが、さらなる改善が必要である
Ｄ：取り組みが不十分であり、一層の改善・努力が求められる

大項目	中　項　目	小　項　目	実　績　及　び　評　価	
１　教育委員会の活動	（１）教育委員会の会議	①開催状況	○定例会・・・１２回開催（毎月） ○臨時会・・・　１回開催（３月）	C
		②運営上の工夫	○審議を活発かつ円滑に行うため、議案の事前配付や関連資料の提出に務めていたが、当日配付や資料の不足等があった。	
	（２）総合教育会議	①開催状況	○８月、１月の２回開催した。	B
		②協議内容	○教育政策（第３期教育振興基本計画、教育大綱等）及び教育予算等について協議するとともに、いじめ防止対策の検討を行い、保育所及び学校適正規模・適正配置基本計画に同意した。	
	（３）教育委員会と事務局との連携	①教育委員会と事務局との連携	○定例会で事業報告を行うとともに、教育委員会主催の行事等への参加を依頼した。	B
	（４）教育委員の自己研鑽	①教育委員の自己研鑽	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種研修会及び自主研修会も中止となったため、自己研鑽の機会が少なかった。	C
	（５）学校、教育施設に対する支援や指導・施設の整備	①学校等への訪問・支援	○新型コロナウイルス感染拡大のため訪問できない学校（室戸小、佐喜浜中）があったが、人数の限定等の対策を行い学校訪問し、指導助言を行うとともに実態把握に努めた。	B
		②所管施設の訪問・支援	○羽根公民館及び教育研究所を訪問を行い、指導助言を行うとともに実態把握に努めた。	

大項目	中項目	小項目	実績及び評価	
2 教育委員会が管理・執行する事務	（1）教育行政の基本的な方針に関すること		○年度当初に「第３期教育振興基本計画の令和３年度実施計画」を策定し計画に沿った事業に取り組んだ。 ○「令和４年度教育行政方針」を策定し、教育振興基本計画の事業実施の方針を示した。	B
	（2）教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること		○（制定） 室戸市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則 押印廃止に伴う関係規則の整理に関する規則　等 ○（全部改正） 室戸市教育支援委員会規則 ○（一部改正） 室戸市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則 室戸市立市民図書館運営規則　等 ○（廃止） 室戸市立中学校学力向上推進協議会設置要綱 吉良川まちなみひな祭り補助金交付要綱　等 ○新しい取り組みである学校運営協議会の設置や教育支援委員会等の規則制定等を行うとともに、国、県の方針に沿った改正を行うなど規則等の整備に努めた。	B
	（3）学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること		○室戸市保育所及び学校適正規模・適正配置基本計画を策定し、高台移転や統廃合の基本的な方針を示した。	B
	（4）教育機関の職員の任命その他の人事に関すること		○県費負担教職員、教育委員会事務局の人事異動及び教育委員会事務局職員の処分の決定、並びに社会教育委員等の委嘱及び任命を行った。	B
	（5）教育予算等議会の議決を経るべき議案について意見の申し出に関すること		○補正予算及び令和４年度当初予算の承認 ○室戸市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償支給条例等、教育委員会条例の承認	B
	（6）保育所の管理運営及び保育指導に関すること		○羽根昭和保育所、吉良川第一保育所に訪問し、指導助言を行うとともに実態把握に努めた。	B
	（7）保育所の統廃合及び民営化に関すること		○該当なし	—

大項目	中項目		小項目	実績及び評価	
3　教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(1)学校教育に関すること	①学校教育内容の充実	①児童生徒の学力の向上 ②心の教育 ③健康・体力の向上 ④校種間連携教育の推進 ⑤教職員の資質・指導力向上	○教育課題検討委員会を開催し課題の解決に向けて協議した。また指導主事による学校訪問を実施し授業改善や基礎学力の定着の取り組みを進めたことにより、12月の県版学力調査の市内平均が小学校では全ての教科で県平均以上と改善したが、中学校では教科によって県平均以下となり課題が残った。 ○不登校の児童生徒数に関しては、依然として課題は残るが、教育支援センターへの通室生10名のうち７名が学校復帰に向けての改善がみられるようになった。 ○「体力・運動能力向上プログラム」の取り組みの推進を図ることで「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果の体力合計点が小学校では全国値を上回り、体力の向上が確認できた。一方、中学校では全国値に届かず、課題が残った。 ○児童生徒会交流会は集合開催ではなく、各校の取り組みについて文書等を作成し周知を図り、各校での取り組みに活かした。 ○８月に國學院大學の田村学教授による教育講演会を実施した。また、新たな市の指定事業を創設した。	C
		②家庭・学校・地域社会の連携教育の推進	①ふるさと教育の推進 ②家庭での基本的な生活習慣及び学習習慣の定着化 ③地域学校協働本部の活動内容の充実、コミュニティスクール設置への取組	○室戸ユネスコ世界ジオパーク学習や、室戸社会科副読本の活用などにより、地域貢献や社会参画の意欲を高めることができた。 ○「早寝・早起き・朝ごはん」や家庭学習の習慣化等を、保小中及び家庭が連携して取り組んだ結果、「早寝・早起き・朝ごはん」の実施状況は全国平均を上回っているが、家庭学習の習慣化については課題が残った。 ○佐喜浜地区においては、学校運営協議会設置委員会を立ち上げ令和４年度当初からコミュニティ・スクールととして運営する準備ができた。このことにより、市内全校での完全実施への一歩となった。	B
		③教育環境の充実と施設整備	①学校施設の教育環境の充実	○ネット通信用端末を整備したことにより、タブレットの持ち帰りよる家庭学習が可能となった。 ○非構造部材耐震化工事（室戸小、吉良川小、室戸中、羽根中）及び佐喜浜中学校ＬＥＤ照明化工事を行った。	B
		④教育研究所各事業の充実	①各校の学力向上対策への支援 ②不登校児童生徒への適応指導に関する研究や支援	○全国学力学習状況調査を分析し、授業改善のための資料を作成し各学校に提供した。そのことで各校の授業改善につながった。 ○教育支援センターの運営、及びＱＵアンケートの実施、取りまとめを行い、個別支援の充実や学校の取り組みが深まった。	B

大項目	中項目		小項目	実績及び評価	
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(2) 保育所に関すること	①保育内容の充実	①若手保育士の育成支援の充実	○新たに若手保育士アドバイザーを置き、若年保育士の育成支援及び保育士研修体制の見直し等を行うとともに、保育カウンセリングに取り組み、保育士の資質向上やひとりひとりに対応する保育の実施につながった。	A
		②保育料に関する事務	①保育料の決定及び徴収率の向上	○保育料の適正決定及び適正徴収に努め、保育料徴収率１００％を達成した。	A
		③保育環境の充実と施設整備	①安心・安全な環境づくりの推進	○公立保育所のＬＥＤ照明化の設計を実施した。 また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行うことにより安心安全な保育環境を確保した。	B
	中項目		小項目	実績及び評価	
	(3) 涯学習に関すること	①生涯学習の充実	①学習機会の提供	○公民館において世代間交流事業やシルバーセミナー、文化祭などを行い、生涯学習活動を通じて地域住民の文化の向上につながった。 ○自衛隊による定期演奏会の開催や中高生の演奏指導を通じ、市民の文化芸術にふれる機会の創出や演奏技術の向上につながった。	B
			②人権教育事業の推進	○人権教育推進講座及び人権週間記念講演会の開催、市人権教育研究協議会等との連携により、人権教育の普及・拡大に取り組んだ。	
			③図書館サービスの充実	○図書館システムの更なる充実に取り組み、WEB上での蔵書検索や館内のレイアウトの見直し、館内アンケート実施によるニーズ調査等により利用者の利便性の向上を図り、貸出冊数の増加につながった。 ○巡回図書、ブックスタート、読み聞かせなど、未就学児や小学校低学年に読書に慣れ親しむ機会が拡充した。 ○毎月１回成人対象の読書会を開催し、読書意欲の向上を図った。 ○書家中川雨亭常設展を設置し、書の普及に努めた。	

大項目	中項目		小項目	実績及び評価	
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(3) 生涯学習に関すること	②生涯スポーツの充実	①市民スポーツの推進	○新型コロナウィルス感染症拡大防止のため市外から参加者の多いマラソン大会、駅伝大会、武道大会、少年野球春季選手権大会等は中止となったが、市内対象のスポーツ大会の一部を開催できた。	C
			②地域スポーツ団体との連携	○体育会、スポーツ少年団、スポーツクラブ等との連携を図るとともに、参加者への実技指導を行い、競技力の向上につながった。	
			③各種スポーツ合宿の推進	○県外の大学及び社会人野球チーム等に対して合宿誘致を行ったがコロナ禍のなかキャンセルが相次いだ。安全安心な環境を構築し各スポーツ団体を迎えることができるよう努めていきたい。	
		③伝統文化の活用・継承	①吉良川町並みの保存・活用	○国・県の補助事業を活用し、重要伝統的建造物群保存地区内の建築物の修復を行い、文化財の維持、保存を推進した。また、保存会と連携を図り、ふるさと市やそば打ち体験などの開催やガイドの養成に取り組み、市民交流につながった。	B
			②地域文化・伝統芸能の保存・活用	○県指定文化財である佐喜浜八幡宮古式行事の「船」修理を通じて地域住民の伝統芸能の保存や活用に対する意識が高まった。 ○国指定の史跡を目指し、令和２年度の最御崎寺に続き、金剛頂寺の遍路道の調査を行い、文化財保護に取り組んだ。	
			③文化芸術活動の推進	○室戸市美術展覧会を開催し、創作意欲の向上や芸術・文化活動の振興を図るとともに、児童・生徒の作品制作を通じて美術教育の推進を図った。また、東部美術展への室戸市からの作品も増加した。	
		④青少年の健全育成	①青少年補導センターの充実	○警察・学校等関係機関と連携を図り、放課後市内巡回や夜間特別補導の実施や非行防止教室等の開催により青少年健全育成に取り組んだ。今後は育成センターとしての活動の充実が課題である。	B
			②放課後対策事業の推進	○放課後の子どもたちの安全安心な居場所づくりのために放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を開催した。また、指導員に対して特別支援教育の研修を行った。	

２．自己点検・評価に対する意見（学識経験者の知見）

【総合評価】

１教育委員会の活動

新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会や学校訪問が十分に行えていないことは残念である。コロナ禍であっても感染対策の徹底等により学校や教育施設を訪問し現状把握等に努めることや、研修を通じて自己研鑽を行うことは、本市の教育の推進に必要であると考える。また、教育委員会の議論を深めるための情報提供や資料の工夫などにより、教育委員が検討しやすい環境整備に尽力されたい。

２教育委員会が管理・執行する事務

少子化や南海トラフ地震に対応し、保育所及び学校のより良い教育環境を整えるための方向性を示した「保育所及び学校適正規模・適正配置基本計画」が策定されたことは大いに評価できる。

この計画を推進するとともに、高台移転等の子どもたちの命を守るための施策については、早期に取り組みを進めてもらいたい。

また、本市の将来を担う子どもたちの保育・教育環境については、今後も引き続き議論を進めてもらいたい。

３教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

（学校教育）

学力や体力については、中学校ではまだ課題が残っているが、小学校では大きく改善されている。新たな市の指定事業及び教育支援センター通室生の学校復帰等に向けた状況改善等は一定評価できる。また、ＩＣＴやオンラインによる教育は、これから大きな意義を持つものであるため、今後の授業における活用方法等の積極的な取り組みを求める。

地域とともにある学校としてのコミュニティ・スクールの取り組みは、急速な少子化・人口減少社会を迎えている本市にとって必要な取り組みである。全小中学校での早期の実施を望む。

（保育所）

若手保育士アドバイザーの新設による人材育成や保育士研修の見直し、また保育カウンセリングに取り組んだことは高く評価できる。保育所では、児童が信頼できる大人とかかわることにより社会性やコミュニケーション力等の人間形成の基礎を築く場所である。

この大切な時期に新たな取り組みを行うことは、本市の子どもたちの生きる力の基礎を培うとともに保育士の資質向上にもつながったのではないかと考える。今後も更なる取り組みに期待する。

２．自己点検・評価に対する意見（学識経験者の知見）

３教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

（生涯学習）

生涯学習については、世代間交流事業やシルバーセミナー、文化祭などの継続的な取り組みは一定評価できる。今後も地域住民の文化の向上に努めてもらいたい。

また図書館サービスの充実は、図書館システムの積極的な活用を推進し、利用者の利便性の向上や読み聞かせ活動などで本好き・読書好きの市民を増やす工夫がなされている。今後は子ども読書活動推進計画の早期の策定等を通して、子どもたちの読書環境の整備に努めてもらいたい。

吉良川町並みの地区の魅力、イベント等の周知のため、今年度から地域おこし協力隊を１名雇用し、インスタグラム等の情報発信による集客アップのための土台づくりやイベント参加者の増加などは評価できる。
また、スポーツの推進については、新型コロナウィルスの感染によりほとんどの大会は中止となったが、健康の保持・増進やレクリエーションを目的に、だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できるよう、引き続き大会の実施に努めてもらいたい。

その他、青少年育成センターに向けての準備、人権教育の充実、伝統文化の継承及び文化財の保存・活用等の積極的な取組を期待する。

今後においても、少子化・人口減少社会に対応した教育の推進を通して、本市の教育理念「ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、生きる力を育む教育」の実現に尽力されたい。

以上、総合評価は『良好』と認めます。

令和４年８月９日　　評価者　：　松岡　敏幸